

地域づくり通信 第31号

「部門別」前期活動報告

令和元年12月1日(2019年)
桂萱地区地域づくり推進事業
地域再発見
テーマ「すみよい桂萱づくり」



編集・発行 桂萱地区地域づくり推進協議会 広報啓発部門 事務局 261-0111 FAX261-2631(桂萱公民館内)

元気・ハツラツ・生き生きと 地域のことは地域の力で!

桂萱地区では平成19年度から3年間「健康と暮らし」をテーマに地域における支えあいや誰もが安心安全に暮らせる地域づくりに取り組んできました。平成22年度からは「すみよい桂萱づくり」をテーマとして、無理なく、みんなで、楽しく継続できる活動に取り組んでいます。

今号は、各部門で実施した令和元年度の前期(4月~10月末)の活動状況を、お知らせします。

★ ファミリーウォーキング部門

■ 令和元年8月25日(日) 第1回ファミリーウォーキング 「桃ノ木川ウォーキング」が開催されました

桂萱公民館を9時に出発した28名の参加者は桃の木川サイクリングコース・・・天神橋南→竹橋→前橋産業技術専門校南・桃ノ木橋→石関公園(休憩)→石関橋→天神橋→桂萱公民館の約5kmのコース(徒歩約2時間程度)を、『緑のインタープリター活動登録者』である須藤友治さんの野草・動物の解説付きで30度を超す気温の中全員が完走しました。

クールダウンのカキ氷を食べて11時半解散となりました。残念ながら今回は子供たちの参加はありませんでしたが、次回は沢山の参加をお待ちしております。(市岡)



桃ノ木川をウォーキング



講師が見つけた野草などを説明



これだけのゴミを拾いました



完歩賞のカキ氷

★ もったいない部門

■ 令和元年5月12日(日) 「第35回桂萱地区のびゆくこどものつどい・ふれあいひろば」に参加しました

夏の省エネ対策としてつる性の植物を育て、節電を呼びかける運動を進めるため、グリーンカーテンにチャレンジと題して、グリーンカーテンアンケートに答えていただいた方にゴーヤ苗(110家庭・220鉢)を配布しました。

ゴーヤは夏の暑さが大好きな植物なので旺盛に生育し、大きく広がった葉が日差しを吸収しやわらかい緑陰を作ってくれます。これにより夏の省エネが一層進めばと思っています。



ゴーヤ苗配布の様子



■ 令和元年10月16日(水)~23日(水) 第4回「グリーンカーテンで楽しもう写真展」が開催されました



地区の皆さんが夏の省エネ対策として、グリーンカーテンを育て楽しんでいる写真を募集したところ、18件(24枚の写真)の応募がありました。

青々と葉が茂ったグリーンカーテンのおかげで、家の中がとても涼しいという方、ゴーヤやキュウリを植えたので野菜も食べられて一石二鳥という方、また、作成者やお子さんたちが一緒に写る写真もあり、それぞれの方がグリーンカーテンを楽しんでいる様子がうかがえました。

会場では、来館者の方が足を止め、上手く育てられたグリーンカーテンに感心していました。

来年は、今までグリーンカーテン作りをしたことのない方にも是非、挑戦していただき写真展に応募していただきたいと思っています。

★ 広報・啓発部門

■ 地域づくり通信第30号 令和元年8月15日発行

令和元年7月3日(水)の桂萱地区地域づくり推進協議会(総会)において、令和元年度の事業計画及び収支予算が承認されたことに伴い、部門別の年間活動計画を掲載した地域づくり通信第30号を発行しました。



★ 福祉部門

■ 善栄会病院との連携事業として、健康講座が開催されました

- ・第1回講座 「突然、家族がおう吐したら」 令和元年8月30日（金）（参加者44名）
- ・第2回講座 「認知症対応-た-養成・認知症予防」 令和元年9月20日（金）（参加者44名）



■ 令和元年9月18日（水）「先進地視察研修」が開催されました

福祉部門委員及び自治会長、関係機関職員33名で、日光市久次良町自治会の「ちょいボラ活動」等について視察しました。久次良町は350世帯の市内でも比較的大きな自治体で高齢化率は40%超です。高齢者が、ちょっとした手助けがあれば住み慣れた町に住み続けられるということで「ちょいボラ活動」を始めた。ちょいボラ要望（資源物回収や買物、電球交換等など）があった場合には、役員が出来る事かどうか検討し、必ず2人で訪問、費用は1回50円である。また、見守り活動も行っており、組単位での見守り体制として「ホットくら隊」を立ち上げた。他の見守りと違い家は訪問しないが、近所の方が見守ってくればちょっとした変化にも気づくという。

他に、東日本大震災の後、住民誰もが避難場所や避難の仕方を知っておくべきだとの考えから町の防災マップを作製し、それを基に避難訓練を行い、現在は避難所体験などを行っているとのことでした。

久次良町の住み慣れた地域で安心して住んでいられるよう、ちょっとした手助けや見守り等の取り組みは、今後の住みよい桂萱づくりを進めるうえで、とても意義深い視察研修となりました。



日光総合会館にて研修



防災マップと昼食会メニュー

■ 令和元年10月26日（土）～27日（日）桂萱地区文化祭が開催されました

開催初日、前日の雨も上がりまずまずのスタートとなりました。1階では、絵画、切り絵、パッチワーク等が展示されており、いずれも力作揃いで日頃の活動成果を感じ取ることが出来ました。2階に於いては書道、墨絵、七宝焼き、バラをモチーフとしたリース等の作品が展示されていました。郷土歴史研究コーナーの展示発表では歴史好きな人にはとても興味深い内容だったのではないのでしょうか。

1階ホールでは14時より勢多農林高等学校吹奏楽部による「ふれ愛コンサート」が開かれた、ディズニーやジブリの曲など盛りだくさんな内容で楽しませてくれました。

引き続き同ホールで郷土芸能交流会が行われ、上州桂会片貝神社太々神楽保存会、勢多農林高等学校の郷土芸能部「勢凜」の皆さんが熱演されました。（荒木）



ふれ愛コンサートと郷土芸能、舞台発表



絵画、リース等の展示作品

★ 桂萱地区地域づくり推進協議会・運営委員会・共通の事業状況

■ 令和元年6月16日（日）市内の23地域づくり協議会が一同に会して「まえばし地域づくり推進大会2019」が中央公民館を会場に開催されました



推進大会開会式

まえばし地域づくり推進大会では、地域づくり関係者が市内各地区の取組や先進事例に触れ、その中から気付きを得て、今後の地域づくり活動に活かすことを目的に開催されました。

開会式では委員長からの趣旨説明の後、市長挨拶、各地区協議会長等紹介があり、午前の部として南橋地区、東地区、中央地区、城南地区の市内4地区がそれぞれ、先進的・模範的取り組みのとして事例発表を行いました。

午後の部からは、宮城地区が行ってきた「みやぎワーキング」の紹介や市長の「コミュニティービジネスや地域づくり」と題した基調講演があり、その後、パネルディスカッションが行われました。

また、桂萱地区では平成30年度に取組んだ地域づくり活動のパネル展示や上泉伊勢守の焼印を押した大判焼きを販売するなど推進大会を盛り上げました。



桂萱地区活動パネル



上泉伊勢守大判焼き販売

■ 令和元年度7月3日（水）地域づくり推進協議会（総会）と協議会終了後に講演会が開催されました



地域づくり推進協議会（総会）

令和元年度第1回地域づくり推進協議会は、平成30年度の事業報告及び収支決算、監査報告と令和元年度の事業計画案、収支予算案、協議会役員について審議が行われ、満場一致で承認となりました。（出席者63名）

協議会終了後に行なわれた講演会は、それいけ！まえばし出前講座を活用し、前橋市保健所保健予防課の「こころの元気を保つコツ」を受講しました。

現代はストレス社会と言われ、だれもが様々なストレスを抱え生活しており、ストレスをためない暮らし方として食事や睡眠、適度な運動が必要であること、また、ゲートキーパーの話では気づき、声掛け、相手の気持ちを受け止めることが必要とのことでした。講師が参加者に取ったアンケートでは、この講座が日常生活にも活かそうな内容であったとの回答が9割あり、関心の高さがうかがわれました。



講演会「こころの元気を保つコツ」